



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月16日

上場会社名 株式会社小僧寿し 上場取引所 東
 コード番号 9973 URL <http://www.kozosushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 毛利 謙久 TEL 03-4586-1122
 四半期報告書提出予定日 2021年8月17日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,200	9.3	9	△55.6	15	△21.5	35	220.6
2020年12月期第2四半期	2,927	△0.0	22	ー	19	ー	11	ー

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 37百万円 (260.7%) 2020年12月期第2四半期 10百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	0.27	0.24
2020年12月期第2四半期	0.11	0.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	1,645	343	20.5	2.23
2020年12月期	1,687	306	17.9	0.38

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 337百万円 2020年12月期 301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2021年12月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2021年12月期（予想）	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,617	7.9	145	154.1	154	259.1	137	402.1	1.17

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年12月期2Q	140,954,795株	2年12月期	117,546,265株
② 期末自己株式数	3年12月期2Q	6,816株	2年12月期	6,815株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年12月期2Q	130,080,804株	2年12月期2Q	99,781,831株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点における経営環境において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13
3. その他	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、昨年に生じた新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う経済活動の制限が継続している中で、企業収益及び個人消費の悪化など、厳しい状況が続き、当該感染症再拡大の影響により本格的な回復には至っておらず、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社の主たる事業が属する中食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出機会の減少、在宅勤務の増加、イベント規制、学校の休校などの影響により、テイクアウトやデリバリー等の中食需要が増加するなどの情勢にある一方で、中食業界への参入企業は増加傾向にあり、顧客獲得競争は激しさを増すことが想定されるなど、予断を許さない経営環境が続いております。

このような環境下において、当社グループは、2020年1月より中期経営計画(2020年12月期から2022年12月期)を着実に進め、テイクアウトの寿し業態に依存しない、多角的かつ多機能を有する「小僧寿し」「茶月」への展開を進めております。また、デリバリー事業においては、2025年度において300店舗の出店を目標とする、デリバリーブランド「デリズ」のさらなる出店推進を中期経営計画の骨子と定め、当該計画の推進を行い、2021年6月末時点における出店店舗数は102店舗となっております。当社の中期経営計画の骨子である上記の取り組みを進める一方で、2021年3月31日付で、小売事業である食品スーパーマーケットを運営する株式会社だいまるを完全子会社化し、新たな事業の取り組みとして、①「小僧寿し」「茶月」における「総合小売事業」の推進、②小売事業とデリバリー事業とのシナジーによる「ネットスーパー事業」の推進、③株式会社だいまるのリソースを活用した、デリズにおける「デジタルコンビニ」機能の拡張等の施策を進めてまいります。

上記の実施策による当期業績への寄与は、第3四半期連結会計期間以降になることを想定しておりますが、テイクアウト及びデリバリー需要ともに堅調に推移している点、2021年3月31日付で連結子会社とした株式会社だいまるの売上高が寄与した点、等の影響により、当第2四半期連結累計期間の売上高は32億0百万円(前年同期比9.3%増加)となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益に関しまして、下記の影響により、前年同期比にして減益となっております。

- ・2021年3月31日付で連結子会社とした株式会社だいまるにおいて、小僧寿しの総合小売事業化、及び、ネットスーパー事業の展開へ向けた、物流デポ機能の開発を進めており、現時点において事業の開始準備段階にあります。第3四半期連結会計期間以降の実施計画であることから、当第2四半期連結会計期間においては営業損失を計上している点
- ・当第2四半期連結会計期間において予定しておりました、株式会社デリズにおける加盟金収入の計上、第3四半期連結会計期間以降の計上へと変更された点
- ・2021年6月14日付「特定子会社の異動を伴う株式会社Tlanseair(トランセア)の株式の取得及び第三者割当による新株発行並びにその他の関係会社の異動に関するお知らせ」にて記載の通り、2021年7月1日付の新株発行に伴う資本金の増額により、外形標準課税の付加価値割にかかる租税公課を追加で7百万円計上した点等の減益要因が発生したため、営業利益は9百万円(前年同期比55.6%減少)、経常利益は15百万円(前年同期比21.5%減少)となりました。

2021年3月23日に開示しました「株式譲渡契約(完全子会社化)に関するお知らせ」に記載のとおり、2021年3月31日付で株式会社だいまるの完全子会社化に伴い、当第2四半期連結累計期間において、特別利益として負ののれん発生益26百万円を計上した点などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、35百万円(前年同期比220.6%増加)となりました。

なお、本年度より、後述の「注記事項(表示方法の変更)」に記載のとおり、従来、営業外収益に計上しておりました受取賃貸料は、売上高に計上する表示方法の変更を行っております。このため、前年同四半期実績につきましても、表示の変更を行っております。

① 持ち帰り寿し事業等

持ち帰り寿し事業等は、「持ち帰り寿し事業」「その他飲食店事業」「寿しFC事業」より構成されております。持ち帰り寿し事業におきましては、直営店として「小僧寿し」「茶月」を77店舗(前年同期比2店舗減)、その他飲食店事業として、連結子会社である株式会社スパイシークリエイトが展開する飲食店を7店舗(前年同期は7店舗の運営)有しており、持ち帰り寿し事業等の直営店舗数は、合計84店舗(前年同期比2店舗減少)となっております。同セグメントの売上高は22億18百万円(前年同期比5.2%増加)、セグメント利益は28百万円(前年同期は1百万円のセグメント利益)となりました。

② デリバリー事業

デリバリー事業は、主に宅配ポータルサイトの「出前館」「UberEats」および株式会社デリズの自社WEBサイトを

通じて受注した商品を調理、宅配する事業です。デリズは、「ニッポンに新たなデリバリー文化を作る！」のビジョンのもと、今までお店に行かなければ食べることができなかった料理を、自宅やオフィスにお届けする、新価値のデリバリーサービスを全国で展開し、日本全国の名店や人気店、著名シェフとのコラボレーションを実施しており、「DELISでしか食べられない商品」の開発に力を入れております。また、2020年8月度に株式会社JFLAホールディングスとのエリアフランチャイズ契約を締結し、100店舗のエリアフランチャイズ件を付与しております。デリズでは、当該契約の推進及び更なるフランチャイズ加盟店の開拓、直営店の出店推進を通して、2025年までに300店舗のデリバリーサービスの展開を目標としております。

当第2四半期連結累計におきましては、既存店の一昨年対比の売上高が117.3%となりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、緊急事態宣言の発令下におけるデリバリー需要の高まりの過渡期にあった昨年と比較すると、既存店売上高は4.3%の減少となっております。この結果、セグメントの売上高は9億82百万円（前年同期比19.9%）となりましたが、新店出店にかかる費用等が発生した点、当第2四半期連結会計期間において予定しておりました、加盟金収入の計上が、第3四半期連結会計期間以降の計上へと変更された点により、セグメント損失は18百万円（前年同期は22百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は16億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円の減少となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少に伴い、流動資産が52百万円減少したことによるものです。

負債合計は13億1万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円の減少となりました。主な要因としては、買掛金、未払金等の減少に伴い、流動負債が40百万円減少した点、長期借入金の減少に伴い、固定負債が39百万円減少したことによるものです。

株主資本は、利益剰余金の増加に伴い35百万円増加し、3億37百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想は、2021年3月1日開示の「通期業績予想の公表に関するお知らせ」から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	133,162	119,888
受取手形及び売掛金	412,874	234,844
商品	84,583	81,188
その他	175,688	317,774
貸倒引当金	△27,149	△27,149
流動資産合計	779,160	726,546
固定資産		
有形固定資産	326,092	403,105
無形固定資産	9,012	8,739
投資その他の資産		
投資有価証券	1,183	20,249
敷金及び保証金	421,235	444,419
破産債権等に準ずる債権	228,295	227,565
その他	157,369	49,693
貸倒引当金	△234,518	△234,518
投資その他の資産合計	573,565	507,410
固定資産合計	908,670	919,256
資産合計	1,687,830	1,645,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	391,369	325,250
短期借入金	9,055	5,343
1年内返済予定の長期借入金	38,531	64,920
未払金	257,353	223,444
未払法人税等	48,686	47,274
その他	174,344	212,893
流動負債合計	919,340	879,126
固定負債		
長期借入金	170,147	100,000
資産除去債務	227,806	249,622
その他	64,150	73,079
固定負債合計	462,105	422,701
負債合計	1,381,446	1,301,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	97,614	97,614
利益剰余金	202,315	237,741
自己株式	△7,426	△7,434
株主資本合計	302,502	337,920
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,000	6
その他有価証券評価差額金	—	1,164
その他の包括利益累計額合計	△1,000	1,170
新株予約権	4,881	4,881
純資産合計	306,384	343,973
負債純資産合計	1,687,830	1,645,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,927,869	3,200,637
売上原価	1,414,333	1,682,400
売上総利益	1,513,536	1,518,236
販売費及び一般管理費	1,491,134	1,508,297
営業利益	22,401	9,939
営業外収益		
受取利息	586	253
その他	12,561	9,935
営業外収益合計	13,147	10,188
営業外費用		
支払利息	2,357	1,022
その他	13,791	3,885
営業外費用合計	16,148	4,908
経常利益	19,400	15,219
特別利益		
固定資産売却益	2,000	3,780
投資有価証券売却益	—	1,915
助成金収入	—	47,162
負ののれん発生益	—	26,745
特別利益合計	2,000	79,603
特別損失		
新型コロナ関連損失	—	38,350
特別損失合計	—	38,350
税金等調整前四半期純利益	21,400	56,473
法人税、住民税及び事業税	10,268	8,735
法人税等調整額	—	12,311
法人税等合計	10,268	21,046
四半期純利益	11,132	35,426
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,132	35,426

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,132	35,426
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△168	1,006
その他有価証券評価差額金	—	1,164
その他の包括利益合計	△168	2,170
四半期包括利益	10,963	37,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,963	37,597
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	21,400	56,473
減価償却費	10,923	32,691
減損損失	—	—
固定資産売却益	△2,000	△3,780
負のれん発生益	—	△26,745
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,392	—
貸倒引当金戻入益	—	—
店舗等閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	734	—
受取利息及び受取配当金	△586	△253
支払利息	2,357	1,022
売上債権の増減額(△は増加)	81,444	188,012
たな卸資産の増減額(△は増加)	34,216	18,100
仕入債務の増減額(△は減少)	△108,086	△100,071
未払金の増減額(△は減少)	△11,567	△41,154
未払消費税等の増減額(△は減少)	55,345	△27,050
その他の流動資産の増減額(△は増加)	—	△128,878
その他の流動負債の増減額(△は減少)	—	64,058
その他	△7,981	12,536
小計	60,808	44,960
利息及び配当金の受取額	1,818	253
利息の支払額	△3,427	△1,022
法人税等の支払額	△5,656	△17,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,542	26,754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△101,059	△74,247
無形固定資産の取得による支出	—	△866
有形固定資産の売却による収入	2,000	1,736
投資有価証券の取得による支出	—	△19,065
敷金の差入による支出	△1,200	△10,050
敷金の回収による収入	—	1,703
長期貸付金の回収による収入	3,060	110,560
長期貸付けによる支出	—	—
資産除去債務の履行による支出	△4,319	△2,019
預り保証金の受入による収入	—	34
預り保証金の返還による支出	△600	△2,300
その他	—	△11,735
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,118	△6,251

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△7
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,401	△3,812
社債の償還による支出	△1,498	—
長期借入金の返済による支出	△27,361	△43,757
リース債務の返済による支出	△628	△681
新株予約権の発行による収入	655	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	260,956	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	228,721	△48,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	△168	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	179,977	△27,756
現金及び現金同等物の期首残高	276,429	170,529
現金及び現金同等物の四半期末残高	456,407	142,773

- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	持ち帰り寿し 事業等	デリバリー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,108,083	819,785	2,885,256	—	2,927,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,405	1,405	△1,405	—
計	2,108,0830	821,191	2,886,662	△1,405	2,927,869
セグメント利益又は損失(△)	1,379	22,079	23,458	△413	23,045

(注) 1. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております

2. セグメント利益の調整額△413千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2021年1月1日 至2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	持ち帰り寿し 事業等	デリバリー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,218,494	982,142	3,200,637	—	3,200,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	900	—	△900	0
計	2,218,494	983,042	3,201,537	△900	3,200,637
セグメント利益又は損失 (△)	28,877	△18,517	9,939	—	9,939

(注) 1. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(表示方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っております。なお、表示方法の変更については、「注記事項 (表示方法の変更)」に記載しております。また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の数値を用いて作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントの資産に関する情報

(子会社の増加による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間末において、株式会社だいまるの全株式を取得したことに伴い、連結子会社に追加しております。これにより、前連結会計年度に比べ、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は、「持ち帰り寿し事業等」のセグメント資産が201,154千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

「持ち帰り寿し事業等」において、株式会社だいまるの全株式を取得し子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。これに伴い、当第2四半期連結累計期間において負ののれん発生益26,745千円を特別利益として計上しております。

(重要な後発事象)

第三者割り当てによる新株式発行及び株式取得

当社は、2021年6月14日開催の取締役会において、株式会社アスラポートを割当先とする第三者割当増資の実施及び当該新株式を払込の現物出資とする株式会社Tlanseair (以下、「トランセア」という。)の株式取得にかかる株式譲渡契約の締結について決議し、同年7月1日に株式会社アスラポートからの払込が完了し、トランセアの株式を取得いたしました。

1. 第三者割当による新株式の発行

- (1) 払込日 2021年7月1日 (木)
- (2) 発行新株式数 普通株式 7,471,000 株
- (3) 発行金額 1株につき金 51 円
- (4) 払込金額の総額 381,021,000 円
- (5) 増加する資本金の額 190,510,500 円
- (6) 増加する資本準備金の額 190,510,500 円
- (7) 募集又は割当方法 第三者割当による新株発行
- (8) 割当先及び割当株数 株式会社アスラポート 7,471,000 株

2. 株式取得

(1) 株式取得の目的

当社は、中期経営計画の骨子である「多様な食を、多様な形で、多様な顧客へ」を推進するにあたり、現在の当社グループで有しない食の提供機能や商品ラインナップの拡大を進めてまいりました。トランセアの株式取得にあたっては、上記に記載する「とり鉄」「とりでん」等の全国的にチェーン展開を行う歴史のあるブランドの展開が可能であり、多様な食を提供していくことを骨子として掲げる当社との親和性が高く、幅広い事業展開が想定されます。

① 当社の主軸ブランドである持ち帰り寿し業態の「小僧寿し」と、外食業態の「とり鉄」「とりでん」とのシナジーにより、両社が強みとする「鳥料理」「お寿司」を主軸とした業態の開発や、更にデリバリーの機能を付加する事により、「イトイン」「テイクアウト」「デリバリー」といった、多様な商品提供方法の確立による多層的な収益力を備えた業態の開発が可能となります。

② 当社が展開するフードデリバリー店「デリズ」の更なる新規出店を進めていく中で、トランセアが出店する73店舗と連携・協業を進めていく事で、デリズの新規出店時における、「出店立地の確保にかかる費用」「設備費」「人材」などの事業の初期に必要な人材や設備等の導入費用を抑制しながら、迅速な出店展開が可能となります。

③ トランセアが運営するFC事業の店舗数(61店舗)が新たに加わると、当社のFC事業の展開を大きく拡大させることが可能となります。

(2)被取得企業の名称、事業の内容、規模

①被取得企業の名称：株式会社Tlanseair

②事業の内容：飲食店の運営、及び、FC事業

③資本金の額：10百万円

(3)株式取得の時期

2021年7月1日

(4)取得する株式の取得価額及び取得後の持分比率

①取得価額：381百万円

②取得後の持分比率：100%

(5)支払資金の調達及び支払い方法

当社は、本第三者割当増資により、トランセアの普通株式を現物出資による払込みを受け取得します。

3. その他

該当事項はありません。